

# 具体的対応方針の合意に向けた取組

【資料1－2】

## これまでの取組

### ○令和4年度に実施したアンケート結果

- ・平成28年5月以降、病床の転換・廃止を行っていない医療機関で、病床を再編すると回答した医療機関は0。

### ○2025年に向けての課題は残る

- ・必要病床数に対して病床過剰（+557）。
- ・非稼働病床が444床。
- ・回復期病床の不足（△653）。

### ○令和5年7月、令和6年3月の会議では以下の医療機関について合意した。

#### 令和5年7月会議

- ・未合意の医療機関のうち、病床機能報告で回復期のみと回答している医療機関については合意。
- ・未合意の医療機関のうち、地域として合意すべきと判断した医療機関については合意。(分娩を取り扱う病床や重心病床)

#### 令和6年3月会議

- ・病床数に対して非稼働病床が突出して多い医療機関以外については合意。  
※ただし、急性期病床にあっては、急性期(救急拠点型)、急性期(地域密着型)に整理後のそれぞれの役割を担う医療機関に限る。

## 今回の取組

### ○具体的対応方針の確認ができていない医療機関については、今後の病床の方針についてヒアリングを実施。

- ・令和6年内にヒアリングを実施後、令和6年度冬の調整会議での具体的対応方針の合意を目指す。

## 具体的対応方針を合意した医療機関

○令和6年8月の会議までに以下の医療機関については合意済

方針の 確認時期	医療 機関数	うち 病院	うち 診療所	確認内容
令和4年	21	15	6	①病床再編に既に取り組んだ医療機関及び、今後の再編方針が具体的に決定している医療機関
令和5年 7月	9	3	6	①分娩取り扱い病床、重心病床のみを持っている医療機関 ②回復期病床のみを持っている医療機関 ③今後の再編方針が具体的に決定している医療機関
令和6年 3月	27	20	7	①病床数に対して非稼働病床が突出して多い医療機関以外 (ただし、急性期病床については、急性期(救急拠点型)、 急性期(地域密着型)に整理後のそれぞれの役割を担う医療 機関)
計	57	38	19	

○今回、未合意の10医療機関(病院2、診療所8)にヒアリングを実施。

## 非稼働病床の状況①

No.	医療機関名	R6			R5		R4		R3		R2		R2～R6
		病床数 (R6.7時点)	非稼働 (R5実績)	非稼働 割合	病床数 (R5.7時点)	非稼働 (R4実績)	病床数 (R4.7時点)	非稼働 (R3実績)	病床数 (R3.7時点)	非稼働 (R2実績)	病床数 (R2.7時点)	非稼働 (R1実績)	非稼働 病床平均
1	県立医科大学附属病院	760	63	8.3%	760	7	760	14	760	13	760	3	20.0
2	日赤和歌山医療センター (R4～R5に173床削減)				692	165	865	178	865	176	865	156	135.0
3	和歌山労災病院								303	1			0.2
4	済生会和歌山病院	200	15	7.5%	200	6	200	5	200	4			6.0
5	堀口記念病院	150	8	5.3%	150	1	150	4	150	5	150	3	4.2
6	和歌山生協病院						149	1					0.2
7	中江病院	192	2	1.0%			192	3					1.0
8	誠佑記念病院	80	8	10.0%	80	8	80	11	80	17	80	17	12.2
9	向陽病院	150	102	68.0%	150	88	150	76	150	77			68.6
10	須佐病院								93	2			0.4
11	古梅記念病院	110	46	41.8%	110	40	110	38	110	42	110	33	39.8
12	中谷病院				195	13	195	8	195	7	195	10	7.6
13	今村病院	52	4	7.7%	52	3	52	1	52	2			2.0
14	和歌浦中央病院	162	8	4.9%	162	6	162	8	162	8			6.0
15	上山病院	56	4	7.1%	56	4	56	4	56	3	56	5	4.0
16	河西田村病院	99	1	1.0%	99	1	99	1					0.6
17	伏虎リハビリテーション病院	67	6	9.0%	86	9	86	6	89	11	89	5	7.4
18	嶋病院	57	12	21.1%	57	9	57	13	57	13	57	13	12.0
19	角谷リハビリテーション病院	60	4	6.7%									
20	角谷整形外科病院	70	10	14.3%	70	10	70	2	70	3			5.0
21	高山病院										50	4	0.8
22	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院				108	6	108	4	108	8	108	7	5.0
23	西和歌山病院	120	9	7.5%	120	21	120	20	120	14	120	12	15.2



## 非稼働病床の状況②

No.	医療機関名	R6			R5		R4		R3		R2		R2～R6
		病床数 (R6.7時点)	非稼働 (R5実績)	非稼働 割合	病床数 (R5.7時点)	非稼働 (R4実績)	病床数 (R4.7時点)	非稼働 (R3実績)	病床数 (R3.7時点)	非稼働 (R2実績)	病床数 (R2.7時点)	非稼働 (R1実績)	非稼働 病床平均
24	向井病院	70	20	28.6%	70	15	70	3	70	1			7.8
25	児玉病院	44	8	18.2%	44	10	44	9	44	9			7.2
26	藤民病院	100	2	2.0%	100	1			100	6			1.8
27	浜病院	115	11	9.6%	115	8	115	10	115	12	115	10	10.2
28	半羽胃腸病院	51	4	7.8%	51	3							1.4
29	海南医療センター				150	2							0.4
30	国保野上厚生総合病院						154	2	154	2			0.8
31	谷口病院	43	12	27.9%	43	7	43	4	43	7	43	5	7.0
32	月山ファイトクリニック	12	2	16.7%	12	2	12	2					1.2
33	紀泉K Dクリニック				19	4							0.8
34	綿貫第二クリニック	14	5	35.7%	14	3	14	3	14	2	19	5	3.6
35	オリオン	19	18	94.7%	19	18	19	18	19	18	19	15	17.4
36	黒田医院						19	16					3.2
37	こうざき産婦人科	3	3	100.0%	3	3	3	3					1.8
38	岩橋産科婦人科	11	10	90.9%	11	10							4.0
39	タナカ眼科						4	4	4	4	4	4	2.4
40	前田外科	19	19	100.0%	19	19	19	19	19	19	19	19	19.0
41	青木整形外科	11	11	100.0%	11	11	11	11	11	11	19	19	12.6
42	かわばた産婦人科	8	8	100.0%	8	8	8	8	8	8	8	8	8.0
43	眼科松本クリニック	5	5	100.0%	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
44	塩崎医院	4	4	100.0%	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
45	西本内科外科医院				19	5	19	4	19	5			2.8
46	吹上クリニック								4	4	4	4	1.6
合計		2,914	444	15.2%	3,864	535	4,224	522	4,253	523	2,899	366	477

## 具体的対応方針未合意医療機関一覧

No.	医療機関名	病床機能	非稼働病床割合
1	向陽病院	急性期 慢性期	3割以上
2	古梅記念病院	急性期	3割以上
3	オリオン	慢性期	3割以上
4	こうざき産婦人科	急性期	3割以上
5	岩橋産科婦人科	急性期	3割以上
6	前田外科	休棟	3割以上
7	青木整形外科	休棟	3割以上
8	かわばた産婦人科	休棟	3割以上
9	眼科松本クリニック	休棟	3割以上
10	塩崎医院	休棟	3割以上

# ヒアリング結果

No.	構想区域	医療機関名	担当者 職 氏名	病床数	非稼働病床数	非稼働の理由	非稼働病床の今後の予定 (いつ、何をするなど具体的に)	見直し予定時期 見直し後の病床数	備考
1	和歌山	向陽病院	理事 西村 日出子	・高度急性期 床 ・急性期 102床 ・回復期 床 ・慢性期 48床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 78床 ・回復期 床 ・慢性期 24床 ・休床 床	看護師不足。	令和7年4月に131床削減し、 19床の有床診療所化。	・令和7年4月に削減予定 ・高度急性期 床 ・急性期 19床 ・回復期 床 ・慢性期 床	有床診療所化
2	和歌山	青木整形外科	院長 青木 克	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 11床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 11床	休棟中	令和7年7月、病床廃止予定。	・令和7年7月に廃止予定 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床	無床化
3	和歌山	古梅記念病院	理事長 古梅 弘	・高度急性期 床 ・急性期 110床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 46床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	コロナの影響でスタッフが退職し病 床が動かせない。 コロナが発生したときに隔離するた めに、空床としている。 高齢者施設も運営しており、施設で コロナが発生したときに受け入れる ために余裕を持っている。	令和8年度中に10床削減予定。	・令和8年度中に廃止予定 ・高度急性期 床 ・急性期 100床 ・回復期 床 ・慢性期 床	未定
4	和歌山	岩橋産婦人科	理事長・院長 岩橋 栄	・高度急性期 床 ・急性期 11床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 10床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	分娩休止のため 腹腔鏡下手術休止のため	継承の可能性も含めて検討中。	・見直し予定時期未定 ・高度急性期 床 ・急性期 3床 ・回復期 床 ・慢性期 床	未定
5	和歌山	前田外科	院長・理事長 前田義政	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	病棟設備の老朽化があり、稼働には 改修工事が必要であるため。医療需 要の変化も激しく、それに見合った 人員確保が困難と判断するため	現在のところ、19床再稼働の予 定はありません。	・1年毎に病床数を検討 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	未定

# ヒアリング結果

No.	構想区域	医療機関名	担当者 職 氏名	病床数	非稼働病床数	非稼働の理由	非稼働病床の今後の予定 (いつ、何をするなど具体的に)	見直し予定時期 見直し後の病床数	備考
6	和歌山	かわばた産婦人科	院長 川端 寛	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 8床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 8床	分娩取り扱いを中止したため	今後、非稼働病床は令和7年度中に廃止を検討中。	・令和7年度中に廃止を検討中 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床	未定
7	和歌山	塩崎医院	理事長 塩崎 憲	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 4床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 4床	職員人員不足	現在毎週土曜日 非常勤 消化器内科医招聘で内視鏡手術実施中。外科医招聘し（時期未定）小手術施行予定です。短期滞在入院のため病床利用予定です。	・見直し予定時期未定 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 4床	未定
8	和歌山	オリオン	中尾 慎吾	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 19床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 18床 ・休床 床	該当があれば稼働。 主としては、緊急時（災害、感染拡大）用に保持。 ・外来透析との隔離可能。（フロア単位） ・病床にての透析が可能な給水や排水等の設備維持。（但し透析装置を持ってくる、あるいは購入する必要あり）	現状維持。	・見直し予定なし ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 19床	見直し予定なし
9	和歌山	こうざき産婦人科	院長 神前 禎宏	・高度急性期 床 ・急性期 3床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 3床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 床	一定時間静養を要する患者に使用する可能性があるため	左記の理由により 変更等の予定は無し。	・見直し予定なし ・高度急性期 床 ・急性期 3床 ・回復期 床 ・慢性期 床	見直し予定なし
10	和歌山	眼科松本クリニック	事務長 雑賀 俊企	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 5床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 5床	眼科医療の進歩により入院を伴う手術が減少し、ほとんどの眼科手術が日帰りで可能となった事で、あえて患者さん及び家族に負担となる入院（病床の使用）を行わなくなったため。	現在のところ入院を伴う手術はないが、この先新たな手技の開発で入院が必要となったときに備え休棟とする。	・見直し予定なし ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 5床	見直し予定なし



# 【参考】都道府県知事の権限

令和4年11月28日

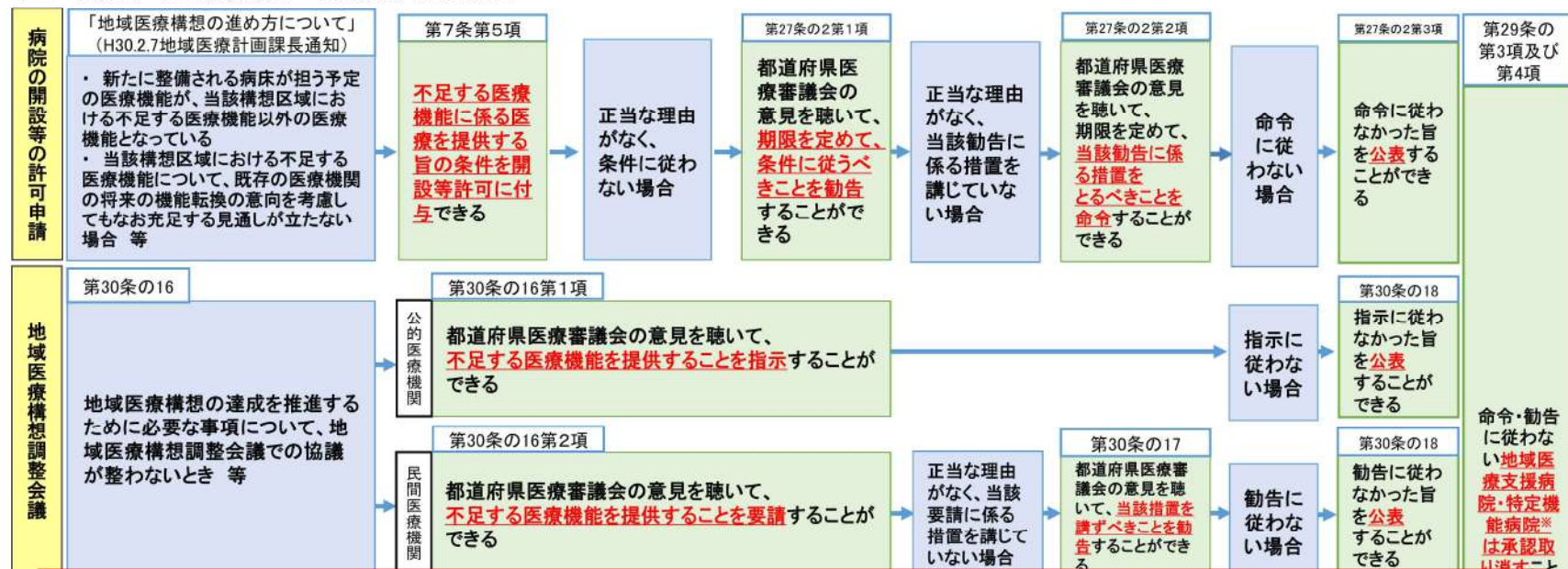
第93回社会保障審議会医療部会

資料3-3

## 病床に関する都道府県知事の権限と行使の流れ②

○ 都道府県知事には、医療計画の達成や地域医療構想の実現に必要な場合、以下の権限を行使することが認められている。

### ■ 不足する医療機能への転換等の促進



### ■ 非稼働病床の削減

